

平成25年度
「地域がキャンパス」推進事業

四国大学文化財調査報告会

— 我がまちのたからもの、ふるさと魅力再発見 —

過疎化の進む県南部圏域の活性化に向けたきっかけづくりとして、地域、大学、美波町、徳島県が連携し、「地域がキャンパス」推進事業を実施しています。

この事業の一環として、6月1日、2日に四国大学文学部の学生の皆さんが実施した薬王寺、弘法寺の文化財調査について、学生の皆さんからその成果を報告いたします。

一般公開されていない「我がまちのたからもの」を始め、魅力あふれる文化財についての報告により、ふるさとを再発見する絶好の機会ですので、是非ご参加ください。



開催日 平成25年8月3日(土)
13:30~16:20 (13:00受付開始)



プログラム

13:30

■開会挨拶

13:40

■調査報告

(四国大学文学部生)

- ・ 仏画・額班
- ・ 典籍班
- ・ 古文書班
- ・ 縁起班
- ・ 境内班
- ・ 弘法寺班

— 休憩 —

15:20

■講演

「寺宝を守り伝える 弘法大師空海像と
真言七祖像の修復」
(須藤茂樹・四国大学文学部専任講師)

16:05

■意見交換、質疑

16:20

■閉会

入場無料

場所

南部総合県民局美波庁舎大会議室

(海部郡美波町奥河内字弁才天 17-1)



事前のお申込みは不要です

〔主催〕

「地域がキャンパス」推進協議会

〔お問い合わせ先〕

「地域がキャンパス」推進協議会事務局

徳島県南部総合県民局
経営企画部<美波>政策企画担当

〒779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天 17-1

TEL.0884-74-7330 FAX.0884-74-7337

■ 調査報告

1. 仏画・額班
 - (1) 真言八祖像について
 - (2) 書之美 慈雲・鉄舟・日和佐八景屏風
2. 典籍班
 - (1) 御遺告を写す 弘法大師空海への思い
 - (2) 典籍を写す 「教え」を伝える
3. 古文書班
 - (1) 蜂須賀家と薬王寺
 - (2) 蜂須賀家と駅路寺
4. 縁起班
縁起が伝える薬王寺の歴史と伝承
5. 境内班
厄坂と十王像 日和佐の商人たち
6. 弘法寺班
法印さんの遺品と伝説 「法印さん」を伝えるということ



■ 講演

演題：「寺宝を守り伝える
弘法大師空海像と真言七祖像の修復」

講師：須藤茂樹（四国大学文学部 専任講師）



◆ 講師紹介

- ・徳島藩お抱え絵師や甲冑師の作品や文献資料の発掘、その実像の解明をはじめ、阿波を題材とした近世美術史について研究
- ・専門は「中近世美術史」、「日本中世史」。著書に『戦国時代の肖像画』、『密教美術と歴史文化』など
- ・1992年から19年間「徳島市立徳島城博物館」において学芸員として勤務
- ・2011年から四国大学文学部日本文学科講師

◆ 講師からの一言

限られた時間ですが、学生達が主体となって調べ、かたちにした成果に耳を傾けてくだされば幸いです。地元の方々には、地域の魅力を再発見していただく機会になればと思います。身近なところに実は「たからもの」が眠っているのです。

※ 「地域がキャンパス」推進事業とは

県南部圏域、とりわけ海部郡においては、若者の流出などによる過疎化や高齢化が進行し、地域活力の低下が懸念されています。

このような状況の中、地域、大学及び行政が連携し、美波町において「地域がキャンパス」となって大学の授業を実施することにより、継続して学生に地域に足を運んでもらい、若者の発想や視点を生かし、地域を活性化させることを目的に、平成24年度から「地域がキャンパス」推進事業を実施しています。